



図1: ハリガネムシ(*Gordionus* sp.)に寄生されていたカマドウマ(*Diestrammena* sp.)。水域で生まれるハリガネムシ類は、水生昆虫類の幼生を待機宿主として利用し、水生昆虫類の羽化に伴って陸域に移動する。水生昆虫の成虫がカマドウマ類等の陸生昆虫類に補食されることで宿主を変え、終宿主の体内で成長した後、水域で産卵するために、宿主の行動を操作して水に飛び込ませる。